

食肉中の残留医薬品検査結果(モニタリング検査結果)

平成23年度

検査対象物質	畜種別個体数			検査 個体数	うち 輸入肉・再掲	検査検体数 (延べ)	うち 輸入肉・再掲	検査 項目数	うち 輸入肉・再掲	違反数
	牛 うち 輸入肉・再掲	豚 うち 輸入肉・再掲	鶏 うち 輸入肉・再掲							
抗生物質	PC系、TC系、ML系、AG系					405 ※3	35	1,620	140	0
	オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン、テトラサイクリン							1,215	105	0
	ベンジルペニシリン							405	35	0
	スピラマイシン							405	35	0
	チルミコシン							405	35	0
	ストレプトマイシン ※1	62 (10)	79 (15)	79 (10)	220 (35)			405	35	0
	ジヒドロストレプトマイシン ※1							405	35	0
	スペクチマイシン ※1							405	35	0
	ネオマイシン ※1							405	35	0
	ゲンタマイシン ※1							405	35	0
一斉分析項目 ※2									220	35
合成抗菌剤	スルファジミジン							220	35	0
	キノキサリン-2-カルボン酸		10		10	10		10		0
内部寄生虫用剤	フルベンダゾール		10		10	10		10		0
	イベルメクチン、エフリノメクチン(牛)、モキシデクチン(牛)	5	5		10	10		20		0
	ナイカルバジン、ジクラスリル			10	10	10		20		0
	トリクラベンダゾール	10			10	10		10		0
	クロサンテル	10 (10)			10 (10)	10	10	10	10	0
レバミゾール		10 (10)		10 (10)	10	10	10	10	0	
ホルモン剤	β-トレンボロン	10 (10)			10 (10)	10	10	10	10	0
合 計		97 (30)	114 (25)	89 (10)	300 (65)	705	100	8,568	935	0

※1: 検体は重複使用、LC/MSにて単独検査を実施。

※2: 合成抗菌剤10種類(スルファメジン、スルファモノキシン、スルファジメキシン、スルファキノキサリン、クエン酸モランテル、ピリメタミ、ジフラゾン、オルメプリム、フラゾリドン、オキサリ酸)を実施。

ただし、牛肉11検体、豚肉4検体、鶏肉7検体、輸入鶏肉5検体については、フラドリジンを除く9種類を実施。

※3: 220検体のうち、輸入肉を除いた185検体の腎臓と筋肉について実施。